### 1 ごみ焼却施設

#### 1.1 今泉工場

#### (1) 排水について

今泉工場の排水(プラント系,生活系)は,工場内の排水処理施設で処理され,プラント系の使用水として再利用されている。工場オーバーホール時に場外に排出するため,水質汚濁防止法の特定事業場に該当し,排出水は同法の規制の対象となる。

検査の結果を表 3.1.1 に示す。

表 3.1.1 令和 5 年度 今泉工場 (再利用水) 検査結果

	項目		基準値	R6
	4 日		左手胆	3/6
水	水素イオン濃度		5.8~8.6	7. 3
規質定汚	生物化学的酸素要求量	(mg/L)	160 (120)	<0.2
ナ濁	化学的酸素要求量	(mg/L)		6. 5
る防水止	浮遊物質量	(mg/L)	200 (150)	<0.5
の法	ヘキサン抽出物質含有量	(mg/L)	鉱5動植30	<0.5
汚 第 染 二	フェノール類含有量	(mg/L)	5	<0.5
状 条	銅含有量	(mg/L)	3	<0.1
態第	亜鉛含有量	(mg/L)	2	<0.2
元 項	溶解性鉄含有量	(mg/L)	10	<0.5
す第項二	溶解性マンガン含有量	(mg/L)	10	<0.5
目号	クロム含有量	(mg/L)	2	<0.2
K	大腸菌群数	(個/cm <sup>3</sup> )	(3000)	0
第二	カドミウム及びその化合物	(mg/L)	0.03	<0.003
— 質	シアン化合物	(mg/L)	1	<0.1
テ 濁	有機燐化合物	(mg/L)	1	<0.1
規止	鉛及びその化合物	(mg/L)	0.1	<0.01
定法	六価クロム化合物	(mg/L)	0.5	<0.05
第二	砒素及びその化合物	(mg/L)	0.1	<0.01
有条	水銀・その他の水銀化合物	(mg/L)	0.005	<0.0005
物二	アルキル水銀化合物	(mg/L)	検出されないこと	<0.0005
質項	ポリ塩化ビフェニル	(mg/L)	0.003	<0.0005

	項目		基準値	R6
	'д п		- 本十世	3/6
	トリクロロエチレン	(mg/L)	0.1	<0.001
水	テトラクロロエチレン	(mg/L)	0.1	<0.01
質汚	ジクロロメタン	(mg/L)	0.2	<0.02
濁	四塩化炭素	(mg/L)	0.02	<0.002
防	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	0.04	<0.004
止法	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	1	<0.1
第	シスー1, 2ージクロロエチレン	(mg/L)	0.4	<0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	3	<0.3
条	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	0.06	<0.006
第一	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	0.02	<0.002
号	チウラム	(mg/L)	0.06	<0.006
に	シマジン	(mg/L)	0.03	<0.003
規定	チオベンカルブ	(mg/L)	0.2	<0.02
上す	ベンゼン	(mg/L)	0.1	<0.01
る	セレン及びその化合物	(mg/L)	0.1	<0.01
有宏	ほう素及びその化合物	(mg/L)	10	<0.1
害物	ふっ素及びその化合物	(mg/L)	8	<0.5
質	アンモニア・その他化合物	(mg/L)	100	1.3
	1,4-ジオキサン	(mg/L)	0.5	<0.05
その	残留塩素	(mg/L)		<0.05
他	透視度	(度)		>30

- 注) 基準値()内は、日間平均値
- \*「ヘキサン抽出物質含有量」とは、「ノルマルヘキサン抽出物質含有量」
- \*「有機燐化合物」とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNに限る
- \*「水銀・その他の水銀化合物」とは、「水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物」
- \*「アンモニア・その他化合物」とは、「アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物」

#### (2) 排ガスについて

今泉工場は、大気汚染防止法に定めるばい煙発生施設である廃棄物焼却炉を設置しているため、同法の規制の対象となっている。

焼却能力は600トン/日(200トン/日×3炉),燃焼ガス冷却設備(廃熱ボイラー)を付設する焼却工場である。ボイラーで発生する蒸気は、発電に利用して場内の必要電力をまかなっているほか、場外施設に電力や熱を供給している。また、余剰電力は電気事業者に売却している。

排ガス中のばいじん,塩化水素等のばい煙処理は,活性炭及び消石灰吹込みとバグフィルター(BF)により行われている。検査の結果を表 3.1.2 に示す。

表 3.1.2 令和 5 年度 今泉工場(ばい煙)検査結果

					BF入口							BF出口					
	75 D		甘油坛	1 号炉	2 号炉	3 号炉			1 -	号炉					2号炉		
	項目		基準値		R5				R5			R6			R5		
					11/8	10/12	4/3	5/9	6/12	8/14	10/13	3/7	4/10	5/10	7/10	8/3	9/6
排ガス温度		(℃)			159	157	153	154	154	154	153	154	151	152	153	152	152
排ガス水分		(%)		300	16.7	19. 7	20.2	19. 4	23.0	21.1	18.7	18. 7	18.3	18. 1	21.5	20.0	18. 2
排ガス流速		(m/s)			11.2	11.2	9.7	10.8	11.4	10.8	10.2	10.9	10.3	10.6	11.8	10.8	11.0
批ガラ法具	湿りガス	$(m^3N/h)$		測	54600	55000	46900	51600	54000	51200	48800	51800	49700	50800	55800	51800	52300
排ガス流量	乾きガス	(m <sup>3</sup> N/h)		定 無 -	45500	44200	37400	41600	41600	40400	39700	42100	40600	41600	43800	41400	42800
ばいじん濃度	度	$(g/m^3N)$	0.08	悪し	1.2	0.94	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001
	酸素濃度	(%)			11.2	10.6	11.5	11.3	11.6	11.5	11.7	11.6	11.8	12.0	11.8	11.8	11.8
塩化水素濃度	度	$(mg/m^3N)$	700		190	190	12	16	12	19	7	19	20	5	32	25	33
	酸素濃度	(%)			11.2	10.6	11.5	11.3	11.6	11.5	11.7	11.6	11.8	12.0	11.8	11.8	11.8
硫黄酸化物排	非出量	$(m^3N/h)$	測定ごと		0.84	0.98	0.16	0.18	0.18	0.11	0.18	0.19	0.35	0.29	0. 26	0.22	0.32
硫黄酸化物基	<b>表準値</b>	(m <sup>3</sup> N/h)	に算出				64.6	66. 7	67. 7	66.5	65.4	66. 7	65.6	66. 1	68.3	66.5	66. 7
窒素酸化物濃	農度	$(cm^3/m^3N)$	250		76	69	58	59	54	80	65	48	61	69	73	67	82
	酸素濃度	(%)			11.2	10.6	11.5	11.3	11.6	11.5	11.7	11.6	11.8	12.0	11.8	11.8	11.8
水銀濃度		$(\mu \text{ g/m}^3\text{N})$	50				0.95			0.67		0.63	0. 29			0.24	

								ВБ	出口					BF出口	における	
	項目		基準値		2号炉					3号炉				平均値	最大値	最小値
	垻 日		<b>本</b> 年 但	R	5	R6			F	35			R6			
				11/8	12/8	3/8	6/13	7/3	8/2	9/7	10/12	12/12	1/5			
排ガス温度		(℃)		152	152	151	152	152	153	153	152	152	151	152	154	151
排ガス水分		(%)		18.7	18.6	19.0	19.7	21.6	22.3	18.8	17.8	17.3	18.7	19.5	23.0	17.3
排ガス流速		(m/s)		11.9	11.2	10.0	10.8	11.2	11.5	11.4	11.4	11.4	11.6	11.0	11.9	9.7
排ガス流量	湿りガス	$(m^3N/h)$		57200	53700	47900	50900	52900	54600	53900	54600	54000	55500	52400	57200	46900
排ガス流量 戦	乾きガス	$(m^3N/h)$		46500	43700	38800	40900	41500	42400	43800	44900	44700	45100	42200	46500	37400
ばいじん濃度	Ę	$(g/m^3N)$	0.08	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001
	酸素濃度	(%)		11.9	12.0	11.8	11.1	11.4	11.4	11.4	11.5	11.6	11.2	11.6	12.0	11.1
塩化水素濃度	ŧ	$(mg/m^3N)$	700	13	11	10	15	27	18	26	35	30	8	19	35	5
	酸素濃度	(%)		11.9	12.0	11.8	11.1	11.4	11.4	11.4	11.5	11.6	11.2	11.6	12.0	11.1
硫黄酸化物排	‡出量	$(m^3N/h)$	測定ごと	0.31	0.23	0.18	0.17	0.26	0.32	0.12	0.33	0.15	<0.09	0.23	0.35	<0.09
硫黄酸化物基	準値	$(m^3N/h)$	に算出	68.8	67.3	64.8	66.2	67.0	67.8	67.5	67.7	67.4	68.0	66.8	68.8	64.6
窒素酸化物濃	農度	$(cm^3/m^3N)$	250	80	65	48	57	53	67	59	73	65	66	64	82	48
	酸素濃度	(%)		11. 9	12.0	11.8	11.1	11.4	11.4	11.4	11.5	11.6	11. 2	11.6	12.0	11.1
水銀濃度		$(\mu \text{ g/m}^3\text{N})$	50	12				0. 26			0.39	1.0		1.83	12	0.24

<sup>\*</sup>ばいじん濃度,塩化水素濃度及び窒素酸化物濃度は,酸素濃度12%換算値

注) 平均値の計算は、測定値が定量下限値未満の場合は定量下限値を使用

## 1.2 葛岡工場

#### (1) 排水について

葛岡工場の排水(プラント系)は、工場内の排水処理施設で処理され、プラント系の使用水として再利用されているため放流水はほとんど出ない。一部再利用されない余剰水と生活系排水は公共下水道に放流されており、下水道法で規定する特定事業場に該当し、同法及び仙台市下水道条例の規制の対象となる。

最小值 7.0 6.0 5.5 <0.5

検査の結果を表 3.1.3 に示す。

表 3.1.3 令和 5 年度 葛岡工場(下水道放流水)検査結果

	3.1.3 令和5年	× 4	-v)   · · · · - · · · /	<i>~</i> (1	/1 • /-	- /4/ / / / /	1/1 +/	17(11.7	11471								
	項目		基準値					R5		•				R6		平均値	最大信
			五十世	4/3	5/1	6/2	7/5	8/2	9/6	10/4	11/1	12/6	1/5	2/2	3/6	1 -5 12	JX / (
	水素イオン濃度		5.0~9.0	7.0	7.2	7.2	7.2	7.4	7. 2	7.2	7.3	7.2	7.5	7. 1	7.1	7.2	7.5
条	生物化学的酸素要求量	(mg/L)	600	16.2	10.1	48.6	28. 1	11.8	6. 0	24.7	23.9	23.9	44.4	35.3	32.6	25. 5	48.6
例	浮遊物質量	(mg/L)	600	21.5	28.5	30.7	9.0	10.6	5. 5	14.3	19.0	8. 0	15.5	14.7	31.3	17.4	31.3
項目	ヘキサン抽出物質含有量	(mg/L)	鉱5動植30	<0.5	0.5	0.8	1.0	<0.5	1.0	0.7	1.2	1.0	1.4	1.2	0.5	0.9	1.4
П	アンモニア・亜硝酸・硝酸	(mg/L)	380	5.2	11.9	18.4	11.6	13.8	6. 7	8.3	16.0	14.4	19.9	6. 9	16.3		
	沃素消費量	(mg/L)	220	<1	3	5	5	5	6	2	5	5	2	2	5		
	カドミウム及びその化合物	(mg/L)	0.03	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003		
	シアン化合物	(mg/L)	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
	鉛及びその化合物	(mg/L)	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	砒素及びその化合物	(mg/L)	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	水銀・その他の水銀化合物	(mg/L)	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		
	ほう素及びその化合物	(mg/L)	10	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
	ふっ素及びその化合物	(mg/L)	8	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		
	フェノール類	(mg/L)	5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		
	銅及びその化合物	(mg/L)	3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
	亜鉛及びその化合物	(mg/L)	2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2		
	溶解性鉄化合物	(mg/L)	10	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	ļ	
	溶解性マンガン化合物	(mg/L)	10	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		
	クロム及びその化合物	(mg/L)	2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2		
政	アルキル水銀化合物	(mg/L)	検出されな いこと						<0.0005								
	ポリ塩化ビフェニル	(mg/L)	0.003						<0.0005								
令	トリクロロエチレン	(mg/L)	0.1						<0.001								
項	テトラクロロエチレン	(mg/L)	0.1						<0.01	1							
	ジクロロメタン	(mg/L)	0.2						<0.02	1							
目	四塩化炭素	(mg/L)	0.02						<0.002								
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	0.04						<0.004								
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	1						<0.1	1							
	シスー1,2ージクロロエチレン	(mg/L)	0.4						<0.04								
	1,1,1-トリクロロエタン		3						<0.3	d							
	1, 1, 2-トリクロロエタン	(mg/L)	0, 06						<0.006								
	1,3-ジクロロプロペン		0.00						<0.000								
	チウラム	(mg/L)	0.02						<0.002								
		(mg/L)															
	シマジン	(mg/L)	0.03						<0.003								
	チオベンカルブ	(mg/L)	0.2						<0.02								
	ベンゼン	(mg/L)	0.1						<0.01								
	セレン及びその化合物	(mg/L)	0.1						<0.01								
	1,4-ジオキサン	(mg/L)	0.5						<0.05								

- 注) 平均値の計算は、測定値が定量下限値未満の場合は定量下限値を使用
- \*「ヘキサン抽出物質含有量」とは、「ノルマルヘキサン抽出物質含有量」
- \*「アンモニア・亜硝酸・硝酸」とは、「アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量」
- \*「有機燐化合物」とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNに限る
- \*「水銀・その他の水銀化合物」とは、「水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物」

- \*「溶解性鉄化合物」とは、「鉄及びその化合物(溶解性)」
- \*「溶解性マンガン化合物」とは、「マンガン及びその化合物(溶解性)」

#### (2) 排ガスについて

葛岡工場は、大気汚染防止法に定めるばい煙発生施設である廃棄物焼却炉を設置しているため、同法の規制の対象となる。

焼却能力は $600 \ \text{トン/日} \ (300 \ \text{トン/日} \times 2 \ \text{炉})$ ,燃焼ガス冷却設備(廃熱ボイラー)を付設する焼却工場である。ボイラーで発生する蒸気は,発電に利用して場内の必要電力をまかなっているほか,場外施設に電力や熱を供給している。また,余剰電力は電気事業者に売却している。

排ガス中のばいじん、塩化水素等のばい煙処理は、消石灰吹込みとバグフィルター(BF)により行われている。

検査の結果を表 3.1.4 に示す。

表 3.1.4 令和 5 年度 葛岡工場(ばい煙)検査結果

				ВF	入口				ВБ	出口			
	項目		基準値	1 号炉	2 号炉				1 5	<b></b>			
	垻 日		本毕旭	R	5			R5				R6	
				11/7	9/12	7/11	8/7	9/11	10/10	11/7	1/15	2/13	3/5
排ガス温度		(℃)		169	171	164	163	162	163	161	161	161	163
排ガス水分		(%)		20.5	23. 2	23.6	23.0	18.4	20.9	21.7	18.2	19. 5	20.8
排ガス流速		(m/s)		8. 7	9.3	10.5	10.1	9.7	10.6	9.0	10.2	9.3	10.2
排ガス流量	湿りガス	$(m^3N/h)$		56000	59700	66700	63500	61800	66900	57200	64400	59400	65300
がみへ加重	乾きガス	(m <sup>3</sup> N/h)		44500	45800	51000	48900	50400	52900	44800	52700	47800	51700
ばいじん濃度	•	$(g/m^3N)$	0.08	0.47	0.88	0.001	0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.001	0.001	0.001
	酸素濃度	(%)		6. 1	5.8	6. 4	6.9	6.6	6.7	7.0	7.3	7.1	7.5
塩化水素濃度	•	$(mg/m^3N)$	700	190	130	10	16	14	15	4	10	10	16
	酸素濃度	(%)		6. 1	5.8	6.4	6.9	6.6	6.7	7.0	7.3	7.1	7.5
硫黄酸化物排	出量	$(m^3N/h)$	測定ごと	1.3	2.0	1.0	0.85	1.0	1.0	0.10	0.8	0.53	0.4
硫黄酸化物基	準値	(m <sup>3</sup> N/h)	に算出			178	175	173	178	168	175	170	176
窒素酸化物濃	度	$(cm^3/m^3N)$	250	100	94	92	99	92	100	100	110	120	100
	酸素濃度	(%)		6. 1	5. 8	6. 4	6.9	6.6	6.7	7.0	7.3	7. 1	7.5
水銀濃度	( μ	g/m <sup>3</sup> N)	50			0.28			0.13	0.14		0.15	

							ВБ	出口				ВІ	出口におり	ナる
	項目		基準値				2 -	号炉						
	垻 日		<b>奉</b> 华 他			F	R5			I	R6	平均値	最大値	最小値
				4/4	5/11	6/1	9/12	11/28	12/5	1/4	3/6			
排ガス温度		(℃)		162	162	162	163	162	163	162	162	162	164	161
排ガス水分		(%)		18.7	19.3	18.6	18. 1	20.8	22. 9	19. 1	18.8	20.2	23.6	18.1
排ガス流速		(m/s)		10.2	9.8	10.0	9.3	9.9	10.6	9.4	10.0	9.9	10.6	9.0
排ガス流量	湿りガス	$(m^3N/h)$		65700	62500	63300	58800	62700	67400	59200	63400	63000	67400	57200
がみへ加重	乾きガス	(m <sup>3</sup> N/h)		53400	50400	51500	48200	49700	52000	47900	51500	50300	53400	44800
ばいじん濃度	:	$(g/m^3N)$	0.08	0.001	<0.001	0.002	0.001	0.001	<0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	<0.001
	酸素濃度	(%)		7. 5	7.1	7.1	6. 9	6.7	6. 7	7.0	7. 3	7.0	7.5	6.4
塩化水素濃度	:	$(mg/m^3N)$	700	25	26	22	13	22	12	12	11	15	26	4
	酸素濃度	(%)		7.5	7.1	7.1	6.9	6.7	6.7	7.0	7.3	7.0	7.5	6.4
硫黄酸化物排	出量	$(m^3N/h)$	測定ごと	1.1	1.4	1.5	0.78	0.96	0.8	0.75	0.4	0.8	1.5	0.1
硫黄酸化物基	準値	$(m^3N/h)$	に算出	176	173	174	170	174	178	170	174	174	178	168
窒素酸化物濃	度	$(cm^3/m^3N)$	250	110	110	110	92	100	100	100	100	100	120	92
	酸素濃度	(%)		7.5	7.1	7. 1	6. 9	6.7	6. 7	7.0	7. 3	7.0	7.5	6.4
水銀濃度		$(\mu \text{ g/m}^3\text{N})$	50	0.25			0.18		0.11			0.18	0.28	0.11

<sup>\*</sup>ばいじん濃度,塩化水素濃度及び窒素酸化物濃度は,酸素濃度12%換算値

注) 平均値の計算は、測定値が定量下限値未満の場合は定量下限値を使用

### 1.3 松森工場

### (1) 排水について

松森工場の排水(プラント系)は、工場内の排水処理施設で処理され、プラント系の使用水として再利用されている。一部再利用されない余剰水と生活系排水は公共下水道に放流されている。また、平成30年度半ばからは石積埋立処分場排水処理施設処理水が合流し、公共下水道に放流されている。下水道法に規定する特定事業場に該当し、同法及び仙台市下水道条例の規制の対象となる。

最小值 6.7 1.6 1.3 <0.5

検査の結果を,表3.1.5に示す。

表 3.1.5 令和 5年度 松森工場(下水道放流水)検査結果

Г								R5						R6				Т
	項目		基準値	4/4	5/2	6/1	7/4	8/1	9/5	10/3	11/2	12/5	1/9	2/1	3/5	平均値	最大値	
	水素イオン濃度		5.0~9.0	6. 7	7. 2	6. 8	6. 7	7. 2	7.4	7.4	7. 1	7. 2	7. 4	7. 2	7.3	7. 1	7.4	1
	生物化学的酸素要求量	(mg/L)	600	10.5	7. 7	22. 2	2. 9	1. 7	1.6	3.0	48.8	3. 4	3. 1	23. 2	4. 9	11. 1	48.8	
条例	浮遊物質量	(mg/L)	600	8. 2	3. 6	4. 6	1. 3	2. 4	1.6	3. 0	9. 3	2.8	3. 1	3. 4	2. 7	3. 8	9. 3	,
項	ヘキサン抽出物質含有量	(mg/L)	鉱5動植30	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	<0.5	0. 5	0. 5	<0.5	0.5	0. 6	,
目	アンモニア・亜硝酸・硝酸	(mg/L)	380	17. 1	8. 2	14.6	4.4	1.6	0.8	4.7	10.7	1.9	1.8	13.6	2.1			_
	沃素消費量	(mg/L)	220	<1	<1	<1	<1	2	3	<1	5	<1	<1	<1	<1			
	カドミウム及びその化合物	(mg/L)	0.03	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003			
	シアン化合物	(mg/L)	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
	鉛及びその化合物	(mg/L)	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
	砒素及びその化合物	(mg/L)	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
	水銀・その他の水銀化合物	(mg/L)	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005			
	ほう素及びその化合物	(mg/L)	230	0.4	0.2	<0.1	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.5	0.4	0.6			
	ふっ素及びその化合物	(mg/L)	15	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5			
	フェノール類	(mg/L)	5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5			
	銅及びその化合物	(mg/L)	3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
	亜鉛及びその化合物	(mg/L)	2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2			
	溶解性鉄化合物	(mg/L)	10	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5			
	溶解性マンガン化合物	(mg/L)	10	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5			
	クロム及びその化合物	(mg/L)	2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2			
政	アルキル水銀化合物	(mg/L)	検出されな いこと								<0.0005							
令	ポリ塩化ビフェニル	(mg/L)	0.003								<0.0005							
	トリクロロエチレン	(mg/L)	0.1								<0.001							
項	テトラクロロエチレン	(mg/L)	0.1								<0.01							
目	ジクロロメタン	(mg/L)	0.2								<0.02							
	四塩化炭素	(mg/L)	0.02								<0.002							
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	0.04								<0.004							
	1, 1-ジクロロエチレン	(mg/L)	1								<0.02							
	シスー1,2ージクロロエチレン	(mg/L)	0.4								<0.04							
	1, 1, 1-トリクロロエタン	(mg/L)	3								<0.3							
	1, 1, 2-トリクロロエタン	(mg/L)	0.06								<0.006							
	1, 3-ジクロロプロペン	(mg/L)	0.02								<0.002							
	チウラム	(mg/L)	0.06								<0.006							
	シマジン	(mg/L)	0.03								<0.003							
	チオベンカルブ	(mg/L)	0.2								<0.02							
	ベンゼン	(mg/L)	0.1								<0.01							
	セレン及びその化合物	(mg/L)	0.1								<0.01							
	1,4-ジオキサン	(mg/L)	0.5								<0.05							

注) 平均値の計算は、測定値が定量下限値未満の場合は定量下限値を使用

<sup>\*「</sup>ヘキサン抽出物質含有量」とは、「ノルマルヘキサン抽出物質含有量」

- \*「アンモニア・亜硝酸・硝酸」とは、「アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量」
- \*「有機燐化合物」とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNに限る
- \*「水銀・その他の水銀化合物」とは、「水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物」
- \*「溶解性鉄化合物」とは、「鉄及びその化合物(溶解性)」
- \*「溶解性マンガン化合物」とは、「マンガン及びその化合物(溶解性)」

#### (2) 排ガスについて

松森工場は、大気汚染防止法に定めるばい煙発生施設である廃棄物焼却炉を設置しているため、同法の規制の対象となる。

焼却能力は600トン/日(200トン/日×3炉),燃焼ガス冷却設備(廃熱ボイラー)を付設する焼却工場である。ボイラーで発生する蒸気は,発電に利用して場内の必要電力をまかなっているほか,場外施設に電力や熱を供給している。また,余剰電力は電気事業者に売却している。

排ガス中のばいじん,塩化水素等のばい煙処理は,活性炭及び消石灰吹込みとバグフィルター(BF), 触媒反応装置により行われている。

検査の結果を表 3.1.6 に示す。

表 3.1.6 令和 5年度 松森工場(ばい煙)検査結果

					BF入口					ţi.	亜突採取 🗆	]			
	-T -		the Nila Inta	1 号炉	2 号炉	3 号炉			1 5		170711011			2 号炉	
	項目		基準値		R5	R6			R5			R6	R	.5	R6
					12/7	2/6	4/6	5/12	6/8	7/7	11/10	1/10	11/13	12/7	3/9
排ガス温度		(℃)			157	155	196	199	197	198	198	197	196	195	195
排ガス水分		(%)			20.4	22.1	18. 7	18.7	20.7	21.9	18.5	18.4	19.5	22.2	19.6
排ガス流速		(m/s)			13.4	12.1	9.5	10.7	9.7	9. 4	9.8	10.2	9. 1	9.3	9.0
批ガラ法具	湿りガス	$(m^3N/h)$		測	46700	43100	47300	52800	47600	45800	48200	50000	44700	45300	44000
排ガス流量 乾	乾きガス	$(m^3N/h)$	]	測定無	37200	33600	38500	42900	37700	35800	39300	40800	36000	35200	35400
ばいじん濃厚	ŧ	$(g/m^3N)$	0.04	無	0.56	0.63	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	酸素濃度	(%)			6.4	5.3	9. 1	8.3	8.4	8. 7	8.6	8. 5	7.3	7. 2	6.8
塩化水素濃厚	ŧ	$(mg/m^3N)$	700	l i	240	72	<1	1	2	1	3	1	2	1	<1
	酸素濃度	(%)			6.4	5.3	9.1	8.3	8.4	8. 7	8.6	8.5	7.3	7.2	6.8
硫黄酸化物抗	非出量	$(m^3N/h)$	測定ごと	l i	1.2	0.99	<0.03	<0.04	<0.03	<0.03	<0.03	<0.04	0.03	<0.03	<0.03
硫黄酸化物基	<b>基準値</b>	$(m^3N/h)$	に算出				251	260	251	249	253	255	247	247	245
窒素酸化物源	農度	$(cm^3/m^3N)$	250		88	75	30	26	29	28	27	28	28	28	27
	酸素濃度	(%)		•	6. 4	5. 3	9.1	8.3	8.4	8. 7	8. 6	8. 5	7. 3	7. 2	6.8
水銀濃度	(	$\mu \text{ g/m}^3\text{N}$	50					0.07		0.07		0.035		0.002	

							丸	<b>要突採取</b> 「	]				煙突掛	采取口にお	おける
	項目		基準値					3 号炉							
	垻 口		左牛胆			R	15				R6		平均値	最大値	最小値
				4/24	5/3	6/9	7/6	8/1	9/8	1/17	2/6	3/1			
排ガス温度		(℃)		192	192	194	195	195	197	194	193	194	195	199	192
排ガス水分		(%)		19.9	20.2	20.7	22.4	21.7	21.1	23. 1	21.6	19.5	20.5	23.1	18.4
排ガス流速		(m/s)		8.8	8.3	8. 7	9.3	8.7	9.4	8. 9	8. 4	9.0	9. 2	10.7	8.3
排ガス流量	湿りガス	$(m^3N/h)$		44000	41700	42700	45300	43100	46200	44400	41700	43900	45500	52800	41700
かんへ加里	乾きガス	$(m^3N/h)$		35200	33300	33900	35200	33700	36500	34100	32700	35300	36200	42900	32700
ばいじん濃厚	ŧ	$(g/m^3N)$	0.04	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001
	酸素濃度	(%)		6. 9	7.0	7.1	8.0	6.7	6.2	6. 7	6. 4	6. 7	7. 5	9.1	6. 2
塩化水素濃厚	Ĭ	$(mg/m^3N)$	700	2	<1	<1	2	4	7	1	2	1	2	7	<1
	酸素濃度	(%)		6.9	7.0	7. 1	8.0	6.7	6.2	6. 7	6.4	6. 7	7.5	9. 1	6.2
硫黄酸化物抗	非出量	$(m^3N/h)$	測定ごと	0.04	0.03	<0.03	0.06	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.07	0.04	0.07	<0.03
硫黄酸化物基	<b>基準値</b>	$(m^3N/h)$	に算出	245	241	243	247	244	249	246	241	245	248	260	241
窒素酸化物源	農度	$(cm^3/m^3N)$	250	30	30	28	28	27	29	28	33	28	28	33	26
	酸素濃度	(%)		6. 9	7.0	7. 1	8.0	6.7	6.2	6. 7	6. 4	6. 7	7. 5	9.1	6. 2
水銀濃度		$(\mu \text{ g/m}^3\text{N})$	50	0.03				0.08			0.03		0.05	0.08	0.002

<sup>\*</sup>ばいじん濃度,塩化水素濃度及び窒素酸化物濃度は,酸素濃度12%換算値

注) 平均値の計算は、測定値が定量下限値未満の場合は定量下限値を使用、「不検出」は0として計算

# 1.4 ペット斎場

ペット斎場の焼却炉の排出ガスには、仙台市公害防止条例の基準が適用される。 検査の結果を表 3.1.7 に示す。

表 3.1.7 令和 5年度 ペット斎場(ばい煙)検査結果

20.1.1	IN O TO	7 1 M1-90 (1	S ( ) 注/ 1天.	山心人			
		検査場所			集合炉煙道		
項	目	快且物川	基準値	R	.5	R 6	平均值
		検査月日		7/4	11/14	2/20	
排ガス温度		(℃)		896	904	911	904
排ガス水分		(%)		16. 7	15. 1	17. 8	16. 5
排ガス流速		(m/s)		14. 4	14. 3	13.8	14. 2
排ガス流量	湿りガス	$(m^3N/h)$		2170	2170	2080	2140
がみる流重	乾きガス	$(m^3N/h)$		1810	1840	1710	1790
ばいじん濃度	,	$(g/m^3N)$	0. 5	0.035	0. 035	0. 024	0. 031
	酸素濃度	(%)		9. 4	11.0	8. 3	9. 6
塩化水素濃度		(mg/m³N)	700	97	5	<2	5 1
	酸素濃度	(%)	1	9. 4	11.0	8. 3	9. 6
硫黄酸化物排	出量	$(m^3N/h)$	4. 2	0.026	0.071	0. 19	0. 096
窒素酸化物濃	度	$(cm^3/m^3N)$		77	82	79	79
	酸素濃度	(%)	111	9. 4	11.0	8. 3	9. 6

<sup>\*</sup>ばいじん濃度,塩化水素濃度及び窒素酸化物濃度は,酸素濃度 12%換算値

注) 平均値の計算は、測定値が定量下限値未満の場合は定量下限値を使用